

## ばい煙等を発生する施設の使用概要書

工場等における施設番号			
使用状況	1日の使用時間及び月間の使用日数等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動		
原材料	種類		
	使用割合		
	原材料中の成分割合 (%)		
	1日の使用量		
燃料又は電力	種類		
	燃料中の成分割合 (%)		
	発熱量		
	通常の使用量 (L/h)		
	混焼割合		
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度 (℃)			
ばい煙の濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	いおう酸化物(容量比 ppm)	最大 通常	最大 通常
	カドミウム及びその化合物 (mg/m <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
		最大 通常	最大 通常
		最大 通常	最大 通常
		最大 通常	最大 通常
ばい煙量	いおう酸化物 (m <sup>3</sup> /h)	最大 通常	最大 通常
※審査結果			
※備考			

- 注 1 原材料については、ばい煙の発生に影響のあるものに限ること。
- 2 原材料中の成分割合の欄および燃料中の成分割合の欄には、いおう分、灰分又は有害物質中の名称及びその割合を重量比又は容量比の別を明らかにして記入すること。
- 3 ばい煙の濃度の欄には、ばい煙処理施設がある場合は処理後の濃度を記入すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。
- 5 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。